

第 56 回ペプチド討論会

The 56th Japanese Peptide Symposium

DAICEL

ダイセル ランチョンセミナー

演題

キラルカラムを用いた アミノ酸の光学分割とペプチド分析

日時

10月24日(木)
12:00 - 12:50

会場

東京医科歯科大学
M&D タワー 2 階
講義室 1

演者

吉田 賢一

(株式会社ダイセル CPI カンパニー ライフサイエンス開発センター)

近年ペプチド医薬品の開発が積極的に進められており、世界規模で市場が拡大傾向にある。

ペプチド医薬品の製造にはいくつかの合成法が報告されているが、いずれも原料のアミノ酸やアミノ酸誘導体の純度分析は必要不可欠なものである。タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸には、グリシンを除いて D 体および L 体の光学異性体が存在することから、化学純度だけでなく光学純度にも配慮する必要があり、原料の光学純度は精製工程の難易度にも大きな影響を与え得る。また、ペプチドおよびタンパク質結合型の D-アミノ酸についても研究が進展しており、酸加水分解して得られた遊離のアミノ酸の分析にも注目が集まっている。本セミナーでは、キラルカラムを用いたアミノ酸やアミノ酸誘導体、ペプチドの分析法について解説する。

DAICEL 株式会社ダイセル
CPI カンパニー
Surprise! DA future.100_{th}

東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル

☎ 03-6711-8222

✉ chiral@jp.daicel.com

🌐 <https://www.daicelchiral.com>